



## ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ: <http://www.bosch.co.jp>  
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーコール  
**0120-345-762**

(土・日・祝日を除く、午前9:00~午後5:30)

\* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161  
をご利用ください。コールセンターフリーコールのご利用  
はできませんのでご了承ください。



1 609 92A 4SC

1 609 92A 4SC (2019.12)

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。

## コードレスドライバー PSR SELECT 2



# BOSCH

### 取扱説明書

このたびは、弊社コードレスドライバーをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。



# 目次

● 一般安全規則 .....	3
● 安全上のご注意 .....	9
警告表示の区分.....	10
コードレス電動工具全般についての 注意事項.....	11
コードレスドライバーについての 注意事項.....	23
● バッテリーを長持ちさせるために ....	32
● リサイクルのために .....	33
使用済みバッテリーのリサイクルに ご協力ください.....	33
● 本製品について .....	35
用 途.....	35
各部の名称.....	36
仕 様.....	37
標準付属品.....	38
● 使い方 .....	39
バッテリーを準備する.....	40
作業する.....	45
ビット（先端工具）を交換する.....	51

● 困ったときは .....	55
故障かな?と思ったら.....	55
修理を依頼するときは.....	57
● お手入れと保管 .....	59
クリーニング.....	59
保 管.....	60

# 一般安全規則



## 警告

取扱説明書の内容すべてをよくお読みください。  
下記に記載した指示に従わなかった場合は、感電、  
火災、重傷を招く恐れがあります。

下記に記載したすべての警告における“電動工具”  
という用語は、電源式（コード付き）電動工具ま  
たは、電池式（コードレス）電動工具を示します。  
次の事項を順守してください。

### a) 作業場

- 1) 作業場は整理整頓し、十分な照明を保ってください。散らかった暗い場所は、事故の原因になります。
- 2) 爆発を引き起こす恐れのある可燃性液体、ガスまたは粉じんがある場所では、電動工具を使用しないでください。  
電動工具は、粉じんまたはヒュームを発火させる恐れがある火花を発生する場合があります。
- 3) 電動工具の使用中は、子供および第三者を近づけないでください。注意が散漫になり、操作に集中できなくなることがあります。

## b) 電氣的安全性

- 1) 電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグの改造は、絶対に行わないでください。アダプタプラグを接地した電動工具と一緒に使用しないでください。  
改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電する危険が低減されます。
- 2) パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫など、接地処理された媒体と身体が接触するのを避けてください。  
身体が接触すると、感電する危険が増大します。  
屋外で使用する際には、3)～5)の注意が必要です。
- 3) 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿気のある状態にさらしたりしないでください。電動工具に水が入ると、感電する危険が増大します。
- 4) 電源コードは乱暴に扱わないでください。コードを使って電動工具を運んだり、コードを引っ張ったり、コードを引っ張って電源コンセントから抜いたりしないでください。また、コードを熱、油、角のとがった場所、また可動部に近づけないでください。コードが損傷したりもつれたりしていると、感電する危険が増大します。
- 5) 電動工具を屋外で使用するときは、屋外使用に合った延長コードを使用してください。屋外使用に合った延長コードを使用すれば、感電する危険が低減されます。

## c) 人的安全性

- 1) 電動工具の使用中は、油断せず、いま自分が何をしているかに注意し、常識を働かせてください。疲労していたり、薬・アルコールを服用していたりするときには、電動工具を使用しないでください。電動工具使用中に一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。
- 2) 安全保護具を着用してください。常に保護めがねを着用してください。防じんマスク、滑り止め付き安全靴、ヘルメット、耳栓などの安全保護具を適切に着用することで、傷害事故が低減されます。
- 3) 意図せず作動開始しないよう、気をつけてください。電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、必ずスイッチが“切”になっていることを確認してください。指をスイッチに掛けて電動工具を運んだり、スイッチが“入”になっている状態で電動工具の電源プラグを電源コンセントに差し込むと、事故の原因になります。
- 4) 電動工具の電源を入れる前に、調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。電動工具の回転部に調節キーやレンチを付けたままにしておくと、人的傷害の原因になります。
- 5) 無理な姿勢で作業をしないでください。常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。これにより、予期せぬ状況でも電動工具をより適切に操作することができます。

- 6) きちんとした服装で作業してください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。髪、衣服、手袋を、電動工具の回転部に近づけないでください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具、長髪は、回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- 7) 集じん装置が接続できるものは、適切に使用されていることを確認してください。集じん機などを使用することで、粉じんに関係する危険を低減することができます。

#### d) 電動工具の使用および手入れ

- 1) 電動工具を、無理に使用しないでください。目的に合った電動工具を使用してください。より適切、安全に作業ができます。
- 2) スイッチで始動、および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。スイッチで制御できない電動工具は危険です。修理を依頼してください。
- 3) 調整・付属品の交換・保管をするときは、必ず電動工具の電源プラグを電源コンセントから抜くか、電動工具本体からバッテリーを取り外してください。このような予防的安全手段により、不意の作動によるけがの発生が軽減されます。
- 4) 電動工具を使用しないときは、子供の手の届かない場所に保管してください。また、電動工具の取り扱いに不慣れな人や取扱説明書の内容を理解していない人には操作させないでください。電動工具を扱いなれていない人に渡すと、危険です。

- 5) 電動工具の保守を行ってください。電動工具の動きに影響を及ぼす恐れのある可動部分の心ずれや結合、各部品損傷やその他の状態をチェックしてください。異常があった場合は使用せず、修理をご依頼ください。  
多くの事故は、点検作業を怠ったことが原因となっています。
- 6) 先端工具は鋭利で清潔な状態を保ってください。先端工具を適切に手入れし、鋭利な状態を保っておけば、作業の円滑さを失うことなく、能率よく作業できます。
- 7) 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件および作業内容を考慮して、それらの取扱説明書に従って、使う電動工具に合うように使用してください。  
電動工具を意図した作業と異なる作業に使用すると、危険な状況になることがあります。
- 8) 電動工具は、25℃での使用を前提としていますが、時折、35℃になることも想定しています。

#### e) コードレス電動工具の使用および手入れ

- 1) 電動工具にバッテリーを挿入する前に、スイッチが“切”になっていることを確認してください。スイッチが“入”になっている状態でバッテリーを差し込むと、事故の原因になります。
- 2) 弊社が指定した充電器だけで再充電してください。バッテリーに適さない充電器を用いると、火災の危険があります。



- 3) 電動工具は、指定された専用のバッテリーのみを使用してください。指定外のバッテリーを使用すると、人的被害および火災をもたらす恐れがあります。
- 4) バッテリーを使用しないときは、クリップ、硬貨、鍵、釘、ネジなど、バッテリー端子を短絡させる恐れのある金属物から離してください。バッテリー端子の短絡によって、やけどまたは火災をもたらす恐れがあります。
- 5) 過酷な条件のもとでは、バッテリーから液漏れが発生する場合があります。直接触れないでください。誤って触れた場合は、水で洗い流してください。バッテリーの液が目に入った場合は、医師の診察を受けてください。バッテリーから漏れた液体は、炎症ややけどをもたらす恐れがあります。




## f) 整備


電動工具の整備は、資格をもつ修理要員が純正の交換部品だけを用いて行ってください。これにより、電動工具の安全性を維持することができます。


## 安全上のご注意


- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。


## 警告表示の区分

ご使用上の注意事項は  危険、 警告、 注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

 危険 ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。

 警告 ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 注意 ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## コードレス電動工具全般についての注意事項

ここでは、コードレス電動工具全般の『安全上のご注意』についてご説明します。今回お買い求めいただいたコードレスドライバーには、当てはまらない項目も含まれています。



### 危険

#### 1. 専用のバッテリー以外を使用しないでください。

- ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。
- ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。

工具本体の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。

#### 2. バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。

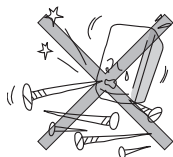


#### 3. バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたりしないでください。

4. バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。

5. バッテリーの端子間を短絡させないでください。

- ◆ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。



6. バッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管しないでください。

発熱・発火・破裂の恐れがあります。

7. 専用の充電器以外では、充電しないでください。

- ◆ 他の充電器でバッテリーを充電しないでください。

バッテリーの液漏れや発熱、破裂の恐れがあります。

8. バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。

また、バッテリー内部に水のような導電体を浸入させないでください。

◆ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。



**警 告**

1. 正しく充電してください。

◆ 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。

◆ 温度が0℃未満、または温度が45℃以上ではバッテリーを充電しないでください。

◆ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。

◆ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

2. 感電に注意してください。

◆ めれた手で電源プラグに触れないでください。

### 3. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- ◆ コードレス電動工具、充電器、バッテリーは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
- ◆ 作業場は十分に明るくしてください。
- ◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。



### 4. 保護めがねを使用してください。

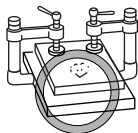
- ◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

### 5. 防音保護具を着用してください。

- ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

## 6. 加工するものをしっかりと固定してください。

- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手でコードレス電動工具を使用できます。



## 7. 次の場合は、コードレス電動工具のスイッチを切り、バッテリーを本体から抜いてください。

- ◆ 使用しない、または修理する場合。
- ◆ 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ◆ その他危険が予想される場合。



## 8. 不意な始動は避けてください。

- ◆ スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ◆ バッテリーを差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。

## 9. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ◆ この取扱説明書、およびボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。



10. バッテリーの液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。
11. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
12. ご使用済みのバッテリーは、一般家庭ゴミとして捨てないでください。  
捨てられたバッテリーが、ゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
13. 充電池以外のバッテリー（マンガン乾電池等）は、充電しないでください。



## 注 意

### 1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。

ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



### 2. 子供や補助を必要とする人、および本機の操作に知識のない人には、コードレス電動工具、充電用 AC アダプターを絶対に使用させないでください。

子供や知識のない人が使用すると、事故の原因になります。

- ◆ この機械で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。

### 3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
- ◆ コードレス電動工具やバッテリーを、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所(金属の箱や夏の車内など)に保管しないでください。

#### 4. 無理して使用しないでください。

- ◆ 安全に能率よく作業するために、コードレス電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。

#### 5. 作業に合ったコードレス電動工具を使用してください。

- ◆ 小型のコードレス電動工具やアタッチメントは、大型のコードレス電動工具で行う作業には使用しないでください。
- ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

#### 6. きちんとした服装で作業してください。

- ◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

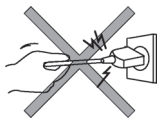


## 7. コードレス電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- ◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ◆ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ◆ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

## 8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- ◆ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。



9. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ◆ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。



10. 調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。

- ◆ スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外されていることを確認してください。

11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ◆ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

12. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

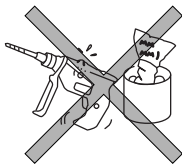
- ◆ コードレス電動工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。



- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。

### 13. 損傷した部品がないか点検してください。

- ◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ◆ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- ◆ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ スイッチで始動、および停止操作のできないコードレス電動工具は、使用しないでください。



## 14. コードレス電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ◆ サービスマン以外の方はコードレス電動工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ コードレス電動工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

## コードレスドライバーについての注意事項

コードレス電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、ドライバーをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。



### 警 告

1. 取扱説明書に記載されている用途、または能力以上の作業に使用しないでください。
  - ◆ 発煙・発火の原因になります。
2. 電源プラグに合った電源コンセントを使用してください。  
電源プラグの改造は、絶対に行わないでください。
  - ◆ 純正電源プラグに適応した電源コンセントを使用しないと、感電の恐れがあります。



3. 作業領域に電線管や水道管、ガス管などが埋設されていないか、適切な探知器で十分確認するか、公益事業者へ連絡をして、助言を求めてください。
  - ◆ 埋設物があると、先端工具が触れたとき事故の原因になります。  
電気配線との接触は、発火や感電につながる恐れがあります。  
ガス配管の損傷は、爆発につながる恐れがあります。  
水配管の貫通は、器物破損の原因になります。
4. 疲労していたり、薬・アルコールを服用していたりするときには、使用しないでください。
  - ◆ ドライバー操作中に一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。
5. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。  
集じん機などが接続できる場合には、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。
  - ◆ 作業中に発生する粉じんは、健康を害します。

6. ドライバー本体を火のそばや炎天下、  
130℃を超える高温の場所、水気・湿  
気のある場所の近くに置かないでく  
ださい。

◆ 発熱・発火・破裂の恐れがあります。

7. ドライバー本体を確実に保持して作  
業してください。

◆ ネジを締め込んだり緩めたりする場合、大き  
な反動トルクが発生する場合があります。  
確実に保持しないと、けがの原因になります。

8. 作業中は、先端工具や回転部に、手や  
顔などを近づけないでください。

◆ けがの原因になります。

9. 誤って落としたり、ぶついたりしたと  
きは、先端工具やドライバー本体など  
に破損や亀裂、変形がないことをよく  
点検してください。

◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因にな  
ります。

10. メンテナンスや先端工具を取り付けたり取り外したりするとき、また運搬中、保管中は、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ」を安全ロック（中間）の位置にしてください。

- ◆ 「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ」を中間の位置にすると、不意の作動によるけがの発生を防ぐことができます。

11. 電線が通っていきそうな場所で作業するときは、ドライバー本体の絶縁されたグリップ面を持って作業してください。

- ◆ 先端工具が通電している電線に接触すると、ドライバー本体の金属部にも通電し、作業者が感電する恐れがあります。

12. 作業中にドライバーの調子が悪くなったり、異常音がしたりしたときは、直ちに「メインスイッチ」を切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検を依頼してください。

- ◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。

13. 作業中は、関係者以外の人や子供を近づけないでください。

◆ 気が散ると集中できなくなります。

14. 充電する前に、充電用 AC アダプター本体、電源プラグ、USB 充電コードに劣化や損傷がないことを確認してください。いずれかに劣化や損傷がある場合は使用せず、交換してください。

◆ 劣化・損傷した充電用 AC アダプター本体、電源プラグ、USB 充電コードは、感電の危険が増大します。

15. 充電器を可燃性のある物（例えば紙、織物その他）の上や周辺で使用しないでください。

◆ 充電中の熱で発火する恐れがあります。

16. やむを得ず、湿気の多い場所で充電する場合は、漏電遮断器（RCD）を設置して給電してください。

◆ 漏電遮断器の設置で、感電する危険が低減されます。

17. すべての充電手順を守ってください。  
指示に従って指定された温度範囲で充電してください。不適切に充電したり、指定された範囲外の温度で充電すると、バッテリーが破損し、火災の危険性が高まります。
  
18. 充電中の本体を持って、身体をアースされているものに接触させないでください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
  - ◆ 身体が接触すると、感電する恐れがあります。
  
19. バッテリーが破損したり、不適切な使い方をしたりすると、バッテリーから蒸気が発生する場合があります。  
蒸気が発生したときは、直ちに周囲を換気し、医者 の 診 断 を 受 け て ください。
  - ◆ 蒸気は呼吸器を刺激する恐れがあります。

20. 本体を乱暴に扱うと、バッテリーから液漏れが発生する場合があります。その場合、直接手で触れないでください。誤って触れた場合は水で十分洗い流してください。バッテリーの液が目に入った場合、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。

- ◆ バッテリーから漏れた液は炎症や火傷をもたらす恐れがあります。

21. 破損したバッテリーを、絶対に修理しないでください。

- ◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

22. 先端工具が完全に停止するまでは、ドライバーを床やテーブルなどに置かないでください。

- ◆ 先端工具が回転していると、けがの原因になります。

23. 使用していないときは、子供の手が届かないところに保管し、知識のない人が使用できないようにしてください。

◆ 知識のない人が使用すると危険です。

24. 石綿は、人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときは、防じん対策をしてください。

25. 安全上のご注意は、必ず守ってください。

◆ コードレス電動工具の取り扱いに慣れると、安全の注意事項厳守を怠りがちです。コードレス電動工具操作中に、一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。



## 注 意

1. 先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
  - ◆ 確実にないと外れたりし、けがの原因になります。
2. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
  - ◆ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
3. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
  - ◆ 材料やドライバー本体などを落としたとき、事故の原因になります。
4. 先端工具を交換するときは、保護めがねを使用してください。



## バッテリーを長持ちさせるために

- ◆ 長時間（6か月以上）使用しない場合は、満充電にしてから保管してください。
- ◆ 満充電にしたバッテリーを、再度充電しないでください。
- ◆ 工具の力が弱くなってきたと感じた場合は使用を中止し、充電してください。

# リサイクルのために

## 使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

ボッシュは一般社団法人 JBRC に加盟し、使用済みコードレス電動工具用バッテリーのリサイクルを推進しております。

恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ボッシュ電動工具取扱店、ボッシュ電動工具サービスセンター、または JBRC リサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。



【<http://www.jbrc.com>】



**Li-ion**

本製品は、リチウムイオンバッテリーを内蔵しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。

ご使用済みの本体を廃棄するときは、本体を分解せず、本体ごとボッシュ電動工具取扱店、ボッシュ電動工具サービスセンター、または JBRC リサイクル協力店へお持ちください。

## 搬送について

内蔵のリチウムイオンバッテリーは危険物法令条件に該当しますが、お客様自身で陸送される場合はそれ以上の制約はありません。

第三者が運搬する場合（例えば空輸あるいは代理店経由）、特別な梱包とラベルの明記が必要です。出荷準備をされる際、有害物質取り扱いの専門家にご相談ください。

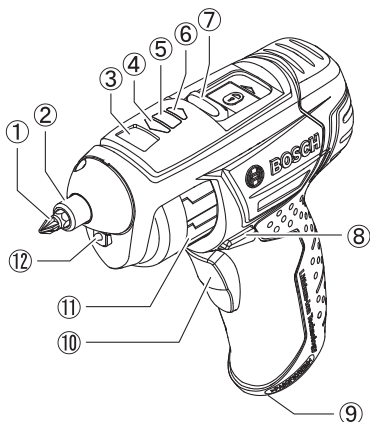
# 本製品について

## 用 途

◆ ネジの締め・緩め（φ5mm×45mm 以下の木ネジ）

※ 本製品はご家庭での使用を想定した「DIY用」製品です。業務で頻繁に使用される場合は当社「プロ用」コードレスドライバーのご使用をお勧めします。

## 各部の名称



- ①ビット（先端工具）
- ②ツールホルダー
- ③ビット確認窓
- ④正転表示ランプ（緑）（ネジ締め）
- ⑤バッテリー残量サインランプ
- ⑥逆転表示ランプ（緑）（ネジ緩め）
- ⑦スライドスイッチ
- ⑧正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ
- ⑨マイク口 USB 差し込み口
- ⑩メインスイッチ
- ⑪回転式ビットケース（ビット 12 本入）
- ⑫ライト

◆ イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

## 仕 様

### 本 体

型 番	PSR SELECT 2
定格電圧	DC 3.6 V
最大ネジ締め能力 (木ネジ)	$\phi 5 \text{ mm} \times 45 \text{ mm}$
無負荷回転数	$210 \text{ min}^{-1}$ (回転/分)
締め付けトルク (最大)	4.5 N・m (ISO5393 基準)
質 量 (内蔵バッテリー含む)	0.5 kg
充電可能周囲温度範囲	0°C ~ +45°C
使用可能周囲温度範囲	-5°C ~ +45°C
保管可能周囲温度範囲	-20°C ~ +50°C
使用ビット	6.35 mm (六角二面幅)
振動3軸合成値	$< 2.5 \text{ m/s}^2$ EN60745 規格に基づき測定

### リチウムイオンバッテリー

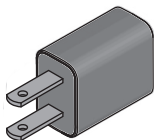
電 圧	DC 3.6 V
容 量	1.5 Ah

※バッテリー充電電流は、デバイス側で 0.5A に制限されています。

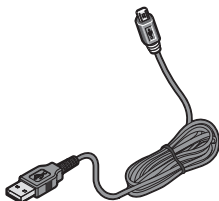
## 充電用 AC アダプター

充電電圧	5 V
充電電流	1 A
感電保護クラス	回/Ⅱ

## 標準付属品



充電用 AC アダプター



マイクロ USB ケーブル

- ◆ イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

# 使い方



- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」が“安全ロックの位置（中央）”にあり、ロックが掛かっていることを確認してください。  
作業をするとき以外は、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」を“安全ロックの位置（中央）”にしてください。



## バッテリーを準備する


### ● 充電する

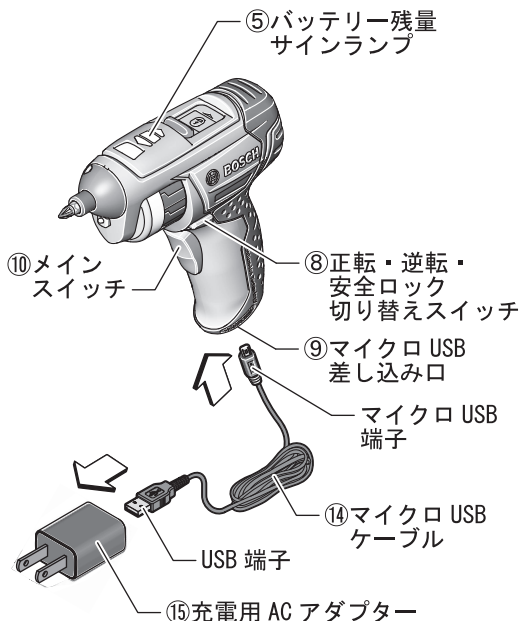


- ◆ 本体破損防止のため、必ず付属の充電用ACアダプター・マイクロUSBケーブルを使って充電してください。
- ◆ 本体が熱くなっているときは、冷めてから充電してください。
- ◆ エンジン発電機・変圧器で充電用ACアダプターを使用しないでください。
- ◆ 電源に100Vが確実に供給されていることを確認してください。特に、延長ケーブルを使用するときは、必ず事前に確認してください。



- ◆ バッテリーは出荷時に多少充電されていますが、バッテリーの能力を十分に発揮させるため、初めて使用するときは、バッテリーを完全に充電してください。
- ◆ 充電中は作業を行わないでください。


 リチウムイオンバッテリーは、その寿命を縮めることなく、いつでも充電が可能です。充電を途中でやめてもバッテリーを傷めることはありません。



1. 「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ ⑧」が「安全ロックの位置（中央）」になっていることを確認します。なっていない場合は、「安全ロックの位置（中央）」にしてください。

☞ 「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ ⑧」を中間の位置で固定すると、安全ロックが働き、不用意に「メインスイッチ⑩」を作動させるのを防ぎます。

2. 充電用 AC アダプター⑮にマイクロ USB ケーブル⑭の USB 端子を差し込みます。
3. マイクロ USB ケーブル⑭のマイクロ USB 端子をマイクロ USB 差し込み口⑨に差し込みます。
4. 充電用 AC アダプター⑮の電源プラグを電源コンセントに差し込みます。電源プラグを差し込むと、充電が開始されます。  
充電中、バッテリー残量サインランプ⑤は緑に点灯し続けます。  
充電が完了すると、バッテリー残量サインランプ⑤は消灯します。

 バッテリー残量サインランプ⑤が赤く点灯している場合は、バッテリーの温度が高すぎます。バッテリーが冷めてから充電してください。

5. 充電が終わったら、充電用 AC アダプター⑮の電源プラグを電源コンセントから抜きます。
6. マイクロ USB ケーブル⑭のマイクロ USB 端子をドライバー本体から抜きます。
7. 充電用 AC アダプター⑮からマイクロ USB ケーブル⑭の USB 端子を抜きます。

- ☞ 充電中、本体のハンドル部が熱くなりますが、異常ではありません。
- ☞ 内蔵のリチウムイオンバッテリーは、バッテリー保護システム（ECP 機能）によって、深放電から保護されています。  
バッテリーが放電されると、保護回路によってドライバー本体の電源が“切”になり、先端工具の回転が停止します。
- ☞ バッテリー保護システム（ECP 機能）が作動して本体が自動的に停止した状態で、「メインスイッチ⑩」を引き込み続けしないでください。引き込み続けると、バッテリーが破損する恐れがあります。
- ☞ 充電しないときは、充電用 AC アダプター⑮の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ☞ バッテリーの残量は、本体のバッテリー残量サインランプ⑤の表示で知ることができます。バッテリー残量サインランプ⑤は、「メインスイッチ⑩」を軽く引き込むと点灯します。

バッテリー残量 サインランプ	残量
緑点灯	30%以上
赤点灯	30%未満 充電が必要です

上記のサインを目安として、適宜充電してください。

## 過負荷保護システム（EMP 機能）

本機には、過負荷保護システム（EMP 機能）が  
ついております。

本体が過負荷になった場合や、バッテリーが使用  
温度範囲外になった場合、バッテリーが使用温度  
範囲内になるまで本体が自動的に停止します。  
通常の使用条件では、本体が過負荷になることは  
ありません。

## 作業する

### 1 「スライドスイッチ⑦」の位置を確認する

「スライドスイッチ⑦」が“安全ロックの位置（本体の後方）”になっていることを確認します。なっていないときは、安全ロックの位置にしてください。



### 2 ビットを選択する

回転式ビットケース⑪を回して、使用したいビット①をビット確認窓③の位置に合わせます。



- ☞ 「スライドスイッチ⑦」が“安全ロックの位置（本体の後方）”になっていないと、回転式ビットケース⑪は回せません。
- ☞ 「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」を“正転”または“逆転”の位置にして「メインスイッチ⑩」を引き込むと、ビット確認窓③内のランプが点灯して、ビット①が見やすくなります。  
（正転表示ランプ④または逆転表示ランプ⑥が点灯します）  
窓のランプは 20 秒点灯後、自動的に消灯します。

### 3 「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」を切り替える

「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」を“安全ロックの位置（中央）”にします。



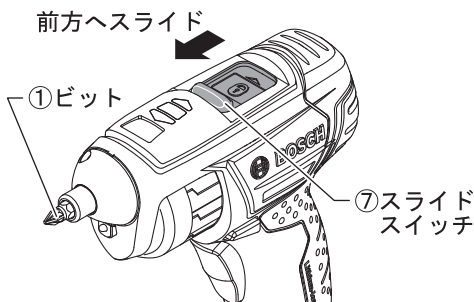
**警告**

◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」を必ず“安全ロックの位置（中央）”にしてください。

逆転 → ロック ← 正転

#### 4 ビットを押し出す

「スライドスイッチ⑦」を本体の前方（矢印の方向）にスライドさせて、ビットを押し出します。



#### 5 「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」を切り替える

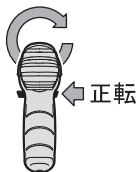


◆ 本体の損傷を防ぐため、回転が止まった状態で、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」を切り替えてください。「メインスイッチ⑩」を引き込んでいるとき、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」は切り替えられません。



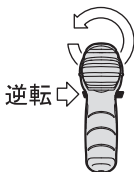
### 締め

「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」の右側（本体を後ろから見て）を押し込む



### 緩め

「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」の左側（本体を後ろから見て）を押し込む




### 安全ロック

「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」を中央の位置にすると、安全ロックが働き、不意に「メインスイッチ⑩」が作動するのを防ぎます。使用しないときは、必ずこの位置にしてください。


逆転 → ロック ← 正転

## 6 「メインスイッチ⑩」を操作する

1. ビット①をネジに当てます。

 緩め作業のときは、まず「メインスイッチ⑩」から指を離れた状態で本機を反時計回りに回し（次ページ「スピンドルロック」参照）、ネジが緩むことを確認してから「メインスイッチ⑩」を引き込んでください。

2. 「メインスイッチ⑩」を引き込みます。  
スイッチをいっぱい引き込むとスピンドル（ツールホルダー②）が回転します。  
ライト⑫、正転表示ランプ④または逆転表示ランプ⑥、バッテリー残量サインランプ⑤が点灯します。
3. 止めるときは、「メインスイッチ⑩」から指を離します。  
回転が停止します。  
ライト⑫や各ランプが消灯します。

 作業中、「メインスイッチ⑩」を引き込んででも回転が止まってしまう場合は、本機の能力の限界です。作業を中止してください。

本機には、バッテリー保護システム（ECP 機能）がついております。

本体が過負荷になった場合や、バッテリーが過放電または作業可能温度外になった場合には、バッテリー保護のために本体が自動的に停止します。上記の状態が解消されると、再始動することができます。

本体が停止している状態で「メインスイッチ⑩」を引き込み続けると、故障の原因になります。


## バッテリー残量サインランプ⑤

バッテリーの残量が約 30%未満になると、「メインスイッチ⑩」を引き込んだときに、バッテリー残量サインランプ⑤が赤く点灯します。

赤く点灯したら、充電してください。

## スピンドルロック（手締め作業）

「メインスイッチ⑩」を離し、作動していない状態のときにツールホルダー②の回転がロックされます（スピンドルロック）。その状態で本機を時計回りに回すことにより、ネジ締め作業を手で行うことが可能です。最後の微調整等に有効です。

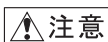
 手締め作業のときは、必ず「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」を“安全ロックの位置（中央）”にしてください。

“安全ロックの位置（中央）”にしないと、本体の故障につながる恐れがあります。

## ビット（先端工具）を交換する

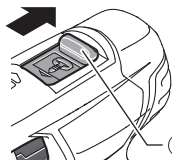


- ◆ けがの発生を防ぐため、ビット①を交換するときは、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」を“安全ロックの位置（中央）”にし、「メインスイッチ⑩」に指が掛からないように注意してください。



- ◆ ビット①を交換するときは、手など身体を傷つけないように十分注意してください。
- ◆ ビット①を交換するときは、保護めがねを使用してください。
- ◆ ビット①を交換するときは、ビットを自分の方に向けて、交換しないでください。
- ◆ 仕様に合った寸法のビット①以外、挿入しないでください。
- ◆ ビット①は、ビットマガジン 1 個所に 1 本だけ挿入してください。

1. 「スライドスイッチ⑦」が“安全ロックの位置（本体の後方）”になっていることを確認します。  
なっていないときは、安全ロックの位置にしてください。

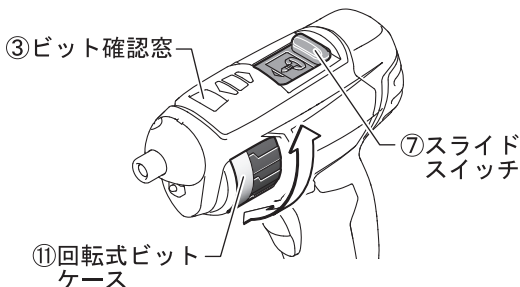


⑦スライドスイッチ

2. 回転式ビットケース⑪を回して、交換したいビット①をビット確認窓③の位置に合わせます。

☞ 「スライドスイッチ⑦」が“安全ロックの位置（本体の後方）”になっていないと、回転式ビットケース⑪は回せません。

☞ 「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」を“正転”または“逆転”の位置にして「メインスイッチ⑩」を引き込むと、ビット確認窓③内のランプが点灯して、ビット①が見やすくなります。（正転表示ランプ④または逆転表示ランプ⑥が点灯します）  
窓のランプは 20 秒点灯後、自動的に消灯します。



3. 「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」を“安全ロックの位置（中央）”にします。

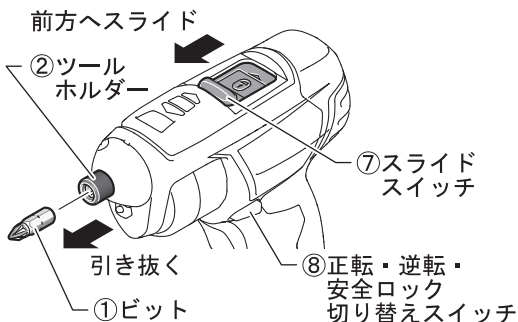


**警告**

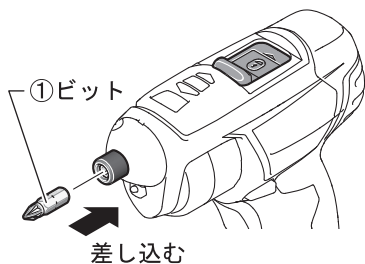
◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」を必ず“安全ロックの位置（中央）”にしてください。

4. 「スライドスイッチ⑦」を本体の前方（矢印の方向）にスライドさせ、ビット①を押し出します。
5. ビット①を引き抜きます。

☞ ビット①は、強力な磁石で取り付けられているため、強い力で引かないと抜けません。



6. 回転式ビットケース⑪にセットしたいビット①を、ツールホルダー②に差し込みます。



7. 確実に取り付けられたかどうか、ビット①を軽く引き、抜けないことで確認します。
8. 「スライドスイッチ⑦」を本体の後方にスライドさせます。



# 困ったときは

## 故障かな？と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめてください。
- ② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめてください。

症 状	原 因	対 処
「メインスイッチ⑩」を引き込んだでも、回らない	バッテリーが消耗している	バッテリーを充電する
「メインスイッチ⑩」を引き込んだでも、ライト⑫が点灯しない	バッテリーが消耗している	バッテリーを充電する
「メインスイッチ⑩」が引き込めない	「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」が中央の位置になっている  「スライドスイッチ⑦」が安全ロックの位置になっている	“正転”か“逆転”の位置にしっかりと切り替える  スイッチを前方（ツールホルダー②側）にスライドさせる



症 状	原 因	対 処
充電しても、フル充電しない。または、フル充電しても、著しく使用時間が短い	バッテリーの寿命が尽きた ※電池は約500回充放電可能ですが、実際の寿命は使用条件、保管条件により異なります  本体の寿命が尽きた	新しい製品の買い替え時期となります          新しい製品の買い替え時期となります

## 修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな？と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーコールまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。  
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーコール 0120-345-762  
土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30

※携帯電話からお掛けのお客様は、  
TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。コールセン  
ターフリーコールのご利用はできませんのでご了  
承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ  
<http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター  
〒355-0813 埼玉県比企郡滑川町月輪1464番地4  
TEL 0493-56-5030 FAX 0493-56-5032

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本  
〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野741-1  
TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

## お手入れと保管



- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、「メインスイッチ⑩」に指が掛からないように注意しながら、お手入れしてください。

### クリーニング

- ツールホルダー内部などに付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす
- 乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る

☞ 変色の原因になるベンジンなどの、溶剤を使わないでください。



## 保 管

### ● ドライバーを使った後は、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。

